

にしっこ 西っ子のみなさんへ 102 7月13日

今日、7月13日は、「日本標準時制定記念日」です。
日本の標準時子午線は東経135度で、兵庫県明石市を
通っています。明石市は日本の中心より西に寄っていま
すが、なぜ明石市が日本の標準時になったのでしょうか。
日本の首都は東京なので、東京に合わせた方がよさそう
にも思えます。



現在の日本の時刻は全国で統一されています。例えば、
北海道と沖縄で時刻が異なるということはありません。しかし、明治の初めまでは「地方
時」と呼ばれる地方ごとの時刻が使われていました。

今でも、アメリカやロシアのように大きな国では、標準時がいくつもあります。世界中
で一番たくさんの標準時を持っている国はロシアです。なんと「11」もあるのだそう
です。これでは、電話やメールで待ち合わせの時刻を決めても、とても会えそうにあり
ませんね。

1884年10月13日、アメリカのワシントンで開催された国際子午線会議におい
て、世界の時刻の基準となる子午線をイギリスのグリニッジ天文台を通る子午線（経度
0度）に決定しました。この会議の決定事項を受けて、日本では1886年7月13日
に明石市を通る東経135度を日本の標準時子午線に決定し、1888年1月1日より
日本の時刻は統一されました。

明石市が日本の標準時に選ばれたのは、経度が東経135度で15度の倍数であった
ことが理由となります。地球一周360度を24時間で割ると15度となり、経度が15
度異なるごとに1時間の時差が生じることになります。東経135度は世界標準時か
らちょうど $(135 \div 15 = 9)$ 9時間ずれることになります。もし東京に標準時をおくと、
東京は東経140度に位置するので、世界標準時との差が9時間20分という中途半端
な時間になってしまいます。これだといろいろ面倒なので、9時間ちょうどの東経13
5度に標準時子午線をおいたのです。

社会科の勉強でも出てくるので、ちゃんと覚えておいてくださいね！

《余談》

太陽が真南に来た（南中した）時を正午（12時）と理科で習うのですが、日本の
標準時子午線が明石市を通っているの、明石市において南中した時が正午（12時0
0分）となり、東京で南中するのは11時40分頃となります。

しかし、明石市で南中した時がいつも正午（12時00分）かという、そうでもあ
りません。これは、地球が太陽の周りを回っている公転軌道が真円ではなく、楕円のた
めです。実際は12時を挟んで前後15分幅で、南中する時刻がずれます。